

日本選挙学会 2005 年度第 1 回理事会

於：愛知学院大学 日進キャンパス 12 号館 G506

出席：池田理事長

和田・小林・川人・河野・谷・大山・平野・岩渕・玉井・山田・神江・岩崎・河崎理事

安野事務局長、小林哲・今井・堤幹事

1 2005 年度予算の件

配付資料に基づき、安野事務局長から、年報売り上げが 2004 年に減少したことから、年報の売り上げ少なめに見積もったこと、委員会活動費の内訳は企画・年報編集委員会にそれぞれ 20 万円、選挙管理・文献委員会、事務局にそれぞれ 10 万であること、理事・監事候補選挙が予定されているため通信費およびアルバイト代を多めにしていることなどの説明があった。

玉井理事より、非会員の報告者・司会者・討論者に謝礼を出すことについて、会員獲得や学会の負担の観点からデメリットとならないかとの指摘があった。議論の結果、永年の慣行であり、学会の負担自体は小さいことから、今後も継続することが確認された。

次いで小林理事より、繰越金の一部を年報発行準備金に移すことが提案された。議論の結果、一般会計から年報発行準備金に 500 万円を繰入れ、次年度繰越金は 3,818,055 円とすることとなった。

2 各委員会の活動状況について

①企画委員会

河野委員長より、次年度の大会は上智大学で 5/20,21 に開催予定であることが報告された。併せて、学会創立 25 周年記念大会として記念企画を行う考えを持っており、今後、企画委員会で検討していく予定であることが報告された。

池田理事長から、優秀な企画・報告に対して学会から賞を出すことが提案され、今後、企画委員会で検討されることとなった。

②年報編集委員会

岩渕委員長より、年報 21 号には 5 件の応募があり、うち 4 件が投稿されたこと、各投稿論文の査読者を決定したこと、特集は政治意識を予定しており、原稿依頼者を決定したことなどが報告された。また、学会紀要に掲載する論文について、分量が規程を超える場合は予め編集委員会に相談してもらい、分割して掲載することができるよう投稿規程を変更する予定であることが報告された。

加えて、年報、紀要の投稿論文では、査読者に投稿者が分からないように執筆するよう依頼をしていくこと、年報を記念号とする場合には、早めに知らせてほしいとの要望があ

った。

③文献委員会

山田委員長より、今後の活動予定について説明があった。特に、昨年度の委員会で新たに組み込まれたホームページを利用した文献調査について、再検討を行い、今年度の活動に生かしていきたい旨の報告がなされた。

④選挙管理委員会

大山委員長より、事務局と相談しながら、選挙の執行に取り組んでいく旨の報告があった。

3 選挙規程変更に伴って行われる作業について

池田理事長より、名簿の整理を行い、7月初期に暫定名簿の発送・確認作業を行うこと、これに基づいて年齢別選挙区を確定していく予定であること、同時に会費納入についても確認を行うことなどが説明された。

4 2006年度大会開催校の件

河崎理事より 5/20、21 の開催を予定しており、既に会場を仮予約してあることが報告された。細部については今後、調整していくが、必要な機材や教室等があればご相談いただきたい旨の報告があった。

5 2007年度大会開催校の件

池田理事長より、神戸大学・伊藤光利会員が引き受けてくださり、この後の総会にて決定する運びであることが報告された。

6 入会申込者・大会希望者の承認について

竹中治堅（政策研究大学院大学）氏から入会申し込みがあり、入会申込書の回覧の後、承認された。

7 その他

次回理事会 10月8日（土）15:00～ 於）東京大学

池田理事長から、選挙規程変更に伴う新たな決定が必要となった際は、メールによる持ち回り委員会で承認を求める可能性があることが報告された。